



令和2年7月13日

停電後からの再通電時に発生する通電火災にご注意を！

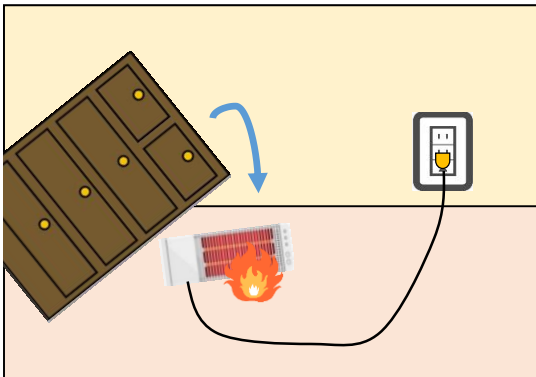
近年増加傾向の豪雨災害や大規模地震時には停電が発生します。
停電から復旧した際に通電火災の危険が含まれています。

1 停電時に注意すること

- (1) 停電中は電気機器のスイッチを切り、電気プラグをコンセントから抜く。
- (2) 自宅から避難するなど、長期間自宅を離れる際はブレーカーを落とす。
- (3) 再通電後は、時間が経過してから建物や電気機器から出火する場合があるので、煙の発生など異状を感じたら直ちにブレーカーを落とし、消防に連絡する。

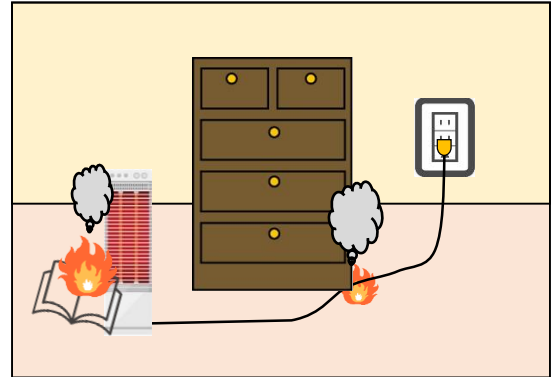
2 火災事例

①地震発生直後の火災



重い物と一緒に電気機器も倒れて出火
倒れた際に自動で電源が切れる安全装置が必要

②通電火災

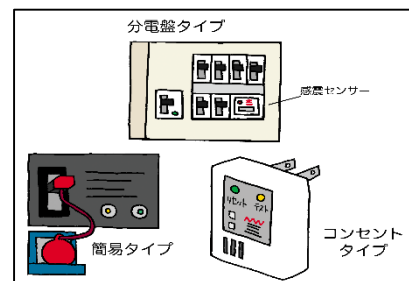


通電後、電気機器の近くに可燃物があり出火
電気コードが重い物の下敷きになり、ショートして出火

3 火災防止対策

- (1) 感震ブレーカーを取り付ける。
- (2) 転倒時電源遮断装置(安全装置)内蔵の電気機器を使用する。
- (3) 再通電する際は、電気機器や配線コードが破損していないか、近くに燃えやすいものがないか十分に安全を確認してから、電気器具を使用する。

感震ブレーカーの種類



住宅用火災警報器の設置はお済ですか？
月1点検・10年が交換の目安です。
全国統一防火標語
『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



【問い合わせ先】
青森地域広域事務組合
消防本部予防課
Tel 017-775-0853